

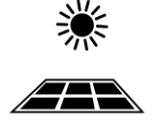
下水道スタートアップチャレンジ 脱炭素社会実現に向けた下水道資源の活用

脱炭素に向けた第一歩： 下水道施設におけるデータのインフラ形成

OSIsoft Japan株式会社
宮嶋 茂也

産業IoTソフトウェア「PI System」の位置づけ

脱炭素に向けた第一歩：現場から遍くデータをかき集め、施設やエリア全体を俯瞰し、ボトルネックや課題を捉え、それをどう解決するかを考え、具体的な改善アクションに繋げていく



概要

■ 類似する技術と比較した優位性：

- ①ユーザーが自分のアイディアや経験を元に、データを自由に使いこなせる**セルフツール**
- ②小～大規模なプラントまで、ユーザーの事業規模に合わせて幅広く利用出来る**キャパシティ**
- ③生産性に欠ける**データの収集～整理～蓄積**作業を自動で実行
- ④AI/機械学習/統計解析/GIS/BIツール等の外部アプリと連携し、**より高度なデータ利活用**

■ 当該要素技術の採用実績・成熟度・下水道分野への応用可能性：

成熟度の指標：1980年創業時にリリースしたソフトウェアで、これまで**世界20,000ヶ所**を超えるプラント、発電所、工場にて利用中（≠実利用を通じてバグ出し完了）。

下水道分野への採用実績（一部）：



■ 連携したいパートナー様：新しいことに取り組みたい下水道関連企業・地方公共団体の皆さま